

第13回 川苔山

第4支部 丁子屋塗料(株)

秦 明彦

平成15年5月18日(日) 曇り

平成15年5月18日(日)、ハイキング同好会は、奥多摩でも人気のある山の一つである、川苔山に登りました。川苔山は、青梅線の北側にそびえる標高1364mの山で、地形が複雑で変化にとんでいること、日帰りハイクには丁度良い高さで、アプローチも容易であるなどが、人気の理由だと思います。

当日は、あいにく曇りで、映えた新緑には巡り会えませんでした。雨がほとんど降らなかったのも、まずまずの山行になりました。

9時過ぎに、青梅線終点の奥多摩駅に6名が集合しました。幹事の磯部さんと乾さん、原さんご夫妻、若林さん、そして私です。小野寺さんは、山行に参加できず、打ち上げのみの参加となりました。

さて、奥多摩駅より、あわただしく日原方面行き臨時バスに乗り、15分ほどで川乗橋に着きました。ここが、出発点です。川苔谷林道をゆるく登り、40分ほどで登山道に入り、何度か沢を渡り返しながらか進むと、やがて百尋ノ滝が現れました。河原へおりて、滝を見学、ここで小休止し、いよいよ登山道を川苔山へと目指します。

一しきりの急登ののち、一度沢へ下ると、道は二分されます。一般的な東の肩経由のコースと足毛岩の肩をまわるコースです。原さんご主人と若林さんは、東の肩コースの方が楽だろうと選択、ここで別れました。残りの4名は足毛岩コースを選択し、足毛岩の肩からはかなりの急登でしたが、やがて山頂にたどり着きました。いつもながら、磯部さんの入れてくださる温かい紅茶をいただきながら、東の肩コースのお二人を待ちましたが、なかなか登ってきません。結局、30分~40分遅れで到着しました。

下山は、東の肩へ降り、そこから鳩ノ巣駅へくだるコースです。昨日までの雨で、一部道がぬかるんでいて歩き難かったのですが、それ以外は軽快でした。

鳩ノ巣駅の駅前には、飲食店があり、そこで打ち上げとなりました。お店の外に、テーブルとイスが用意してあり、屋外での打ち上げで、とても開放的な気分です。なるほど、鳩ノ巣へ下るコースを選択した理由が、よくわかりました。赤杭尾根を古里駅へくだっても、駅前には何もありませんからねえ。小野寺さんは、御嶽駅から歩いてきたとのこと、さすが運動してから打ち上げに参加されるとは、用意周到です。

私は、打ち上げ開始早々に帰りましたが、その後大変盛り上がったのでしょうね。次回の山行を、また楽しみにしています。